



2021年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年2月22日

上場会社名 株式会社 プラネット

上場取引所 東

コード番号 2391 URL <https://www.planet-van.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田上 正勝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営担当役員 (氏名) 川村 渉 TEL 03-5962-0811

四半期報告書提出予定日 2021年3月12日 配当支払開始予定日 2021年4月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から動画配信を予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第2四半期の業績(2020年8月1日～2021年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第2四半期	1,521	0.4	373	19.4	384	19.9	261	21.8
2020年7月期第2四半期	1,514	0.2	313	14.2	320	13.9	214	15.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第2四半期	39.39	
2020年7月期第2四半期	32.33	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第2四半期	5,546	4,635	83.6
2020年7月期	5,314	4,421	83.2

(参考)自己資本 2021年7月期第2四半期 4,635百万円 2020年7月期 4,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期		20.00		21.00	41.00
2021年7月期		20.50			
2021年7月期(予想)				21.00	41.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年7月期の業績予想(2020年8月1日～2021年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,070	0.6	645	11.6	660	11.9	450	1.9	67.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年7月期2Q	6,632,800 株	2020年7月期	6,632,800 株
期末自己株式数	2021年7月期2Q	1,912 株	2020年7月期	1,912 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年7月期2Q	6,630,888 株	2020年7月期2Q	6,630,888 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、依然として厳しい状況が続いております。政府の各種政策が実施され、一部持ち直しの動きも見られましたが、再び感染拡大がみられるなど、収束時期の見通しは立っておらず、先行きは極めて不透明な状況で推移しております。

当事業が中心的に関わる一般消費財流通業界においては、新型コロナウイルス感染拡大によるインバウンド需要の落ち込みや、一部の化粧品やOTC医薬品等における個人消費の低迷などの影響があった一方、新たな生活様式や消費活動の変化により、マスクや除菌衛生用品などの感染症対策商品や巣ごもり消費に関連した商品の需要は、引き続き堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社は継続して感染予防策をとるとともに、「プラネット ビジョン2025」に基づき、中立的な立場で「企業間取引における業務効率の追求」「企業間におけるコミュニケーションの活性化」「流通における情報活用の推進」「社会に役立つ情報の収集と発信」を行うことで業界と社会に貢献すべく各施策への取り組みを継続しました。

事業別の活動状況は次のとおりです。

● EDI事業

日用品・化粧品、ペットフード・ペット用品、OTC医薬品（一般用医薬品）に加え、健康食品や介護用品などの隣接した各業界において、メーカー・卸売業間の「基幹EDI」サービスのさらなる普及活動を継続しました。

また、業界のオンライン取引の一層の推進を図るべく、主に中小メーカー・大手卸売業間の「Web受注一仕入通信サービス『MI TE OS（ミテオス）』」や、卸売業の販売実績をメーカーに通知する「販売データ」を簡易に利用できる「販売レポートサービス」の普及活動に注力しました。

そして、2020年2月に発表した『ロジスティクスEDI概要書』に続き、『ロジスティクスEDI概要書Ver.2.0』を2021年1月に発表しました。Ver.2.0では、標準EDIデータ種定義案を28種とし、物流業務におけるEDIの具体的な活用方法を提示しました。今後は、この概要書に沿って、従来の商流を対象としたデータ種に加え、物流業務も対象にして、EDIの普及に向けた活動を継続してまいります。

● データベース事業

各データベースサービスの付加価値向上のための取り組みを継続しました。

小売業の店舗や、卸売業の支店・物流センターなどを示す「標準取引先コード」を蓄積した「取引先データベース」において、さらなる機能改善に向けた調査を継続しました。

また、日用品・化粧品、ペットフード・ペット用品、OTC医薬品などのナショナルブランドの商品情報を蓄積した「商品データベース」においては、商品情報の収集に努め、一般財団法人流通システム開発センターが提供する多言語商品情報アプリ（M u l p i）への商品情報提供を継続しました。

● その他事業

AI・ビッグデータ活用の調査研究、そして開発への取り組みを継続しました。

これら3つの事業への取り組みの結果、主にE D I通信処理料と「販売レポートサービス」利用料の増加などに支えられ、当第2四半期累計期間の売上高は1,521百万円(前期比0.4%増)となりました。一方、売上原価は、各種サービスのリニューアルに伴う増加が前期に比べて少なかったため521百万円(前期比2.5%減)となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費などの増加があった一方、コロナ禍で調査範囲を限定したことによる調査費の減少、および、移動が制限されたことによる旅費や打ち合わせに関わる費用などの減少により、営業利益は373百万円(前期比19.4%増)となりました。その結果、経常利益は384百万円(前期比19.9%増)となり、四半期純利益は261百万円(前期比21.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ232百万円(4.4%)増加し、5,546百万円となりました。流動資産は122百万円(4.4%)増加し、2,899百万円となりました。これは主に現金及び預金が158百万円(7.0%)増加したことなどによるものであります。また、固定資産は前事業年度末に比べ110百万円(4.3%)増加し、2,646百万円となりました。これは主に投資有価証券の評価額が増加したことなどによるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ19百万円(2.2%)増加し、911百万円となりました。流動負債は481百万円と前期並みだった一方、固定負債は前事業年度末に比べ20百万円(5.0%)増加し、429百万円となりました。これは主に退職給付引当金が増加したことなどによるものであります。

純資産の部は、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前事業年度末に比べ213百万円(4.8%)増加し、4,635百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ158百万円増加し、2,394百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、408百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益(384百万円)及び減価償却費(114百万円)の計上があった一方で、法人税等の支払(130百万円)があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、109百万円となりました。これは、ソフトウェアの取得(104百万円)があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、139百万円となりました。これは、配当金の支払額があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期は、従来に引き続き、日用品・化粧品、ペットフード・ペット用品、OTC医薬品(一般用医薬品)に加え、健康食品や介護用品などの隣接した各業界へ当社の主たる事業であるE D Iの普及活動を続け、中長期的に安定した成長を目指してまいります。

通期の見通しにつきましては、現時点におきましては2020年9月14日付「2020年7月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想と変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,265,197	2,424,037
売掛金	480,826	450,676
前払費用	12,108	9,614
その他	19,093	15,486
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	2,777,127	2,899,715
固定資産		
有形固定資産		
建物	49,636	49,636
減価償却累計額	△39,455	△40,172
建物(純額)	10,181	9,463
工具、器具及び備品	40,015	40,015
減価償却累計額	△24,690	△26,302
工具、器具及び備品(純額)	15,325	13,712
有形固定資産合計	25,506	23,176
無形固定資産		
ソフトウェア	508,065	516,180
電話加入権	1,383	1,383
無形固定資産合計	509,448	517,564
投資その他の資産		
投資有価証券	928,336	1,048,771
関係会社株式	768,099	778,853
繰延税金資産	47,956	13,638
保険積立金	160,255	167,758
その他	97,312	97,256
貸倒引当金	-	△18
投資その他の資産合計	2,001,960	2,106,259
固定資産合計	2,536,915	2,646,999
資産合計	5,314,042	5,546,715

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	150,682	153,036
未払金	56,514	77,671
未払法人税等	139,627	138,073
賞与引当金	24,941	25,518
役員賞与引当金	34,000	17,000
その他	77,129	70,571
流動負債合計	482,895	481,871
固定負債		
退職給付引当金	199,478	210,039
役員退職慰労引当金	197,600	207,487
資産除去債務	12,142	12,236
固定負債合計	409,221	429,764
負債合計	892,116	911,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,100	436,100
資本剰余金	127,240	127,240
利益剰余金	3,541,077	3,663,037
自己株式	△1,788	△1,788
株主資本合計	4,102,629	4,224,589
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	319,296	410,489
評価・換算差額等合計	319,296	410,489
純資産合計	4,421,926	4,635,079
負債純資産合計	5,314,042	5,546,715

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年8月1日 至2021年1月31日)
売上高	1,514,867	1,521,025
売上原価	535,177	521,813
売上総利益	979,689	999,212
販売費及び一般管理費	666,543	625,313
営業利益	313,146	373,898
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	1,854	2,039
有価証券利息	4,557	5,068
雑収入	778	3,165
営業外収益合計	7,200	10,284
経常利益	320,346	384,183
特別損失		
固定資産除却損	1,301	-
特別損失合計	1,301	-
税引前四半期純利益	319,045	384,183
法人税、住民税及び事業税	111,176	128,865
法人税等調整額	△6,524	△5,890
法人税等合計	104,651	122,974
四半期純利益	214,393	261,208

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	319,045	384,183
減価償却費	112,923	114,164
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	18
受取利息及び受取配当金	△1,863	△2,050
売上債権の増減額(△は増加)	4,295	30,150
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,208	2,354
賞与引当金の増減額(△は減少)	△208	577
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,000	△17,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,300	10,561
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,412	9,887
未払金の増減額(△は減少)	△2,555	6,079
未払消費税等の増減額(△は減少)	△23,902	△19,342
その他	7,844	11,323
小計	406,082	530,906
利息及び配当金の受取額	6,599	7,354
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△112,308	△130,149
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,373	408,111
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△150,000	-
投資有価証券の償還による収入	28,000	-
ソフトウェアの取得による支出	△115,786	△104,672
有形固定資産の取得による支出	-	△200
その他	△10,118	△5,103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△247,904	△109,976
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△136,054	△139,295
財務活動によるキャッシュ・フロー	△136,054	△139,295
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△83,585	158,839
現金及び現金同等物の期首残高	2,074,130	2,235,197
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,990,545	2,394,037

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

当第2四半期累計期間における販売実績を事業別に示すと、次のとおりであります。

事業別	前年同四半期 〔 2020年7月期 第2四半期 〕		当四半期 〔 2021年7月期 第2四半期 〕		(参考) 前期 (2020年7月期)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
E D I 事業	1,373,309	90.7	1,389,820	91.4	2,776,287	90.9
データベース事業	134,490	8.9	125,897	8.3	263,952	8.6
その他事業	7,068	0.5	5,308	0.3	12,396	0.4
合計	1,514,867	100.0	1,521,025	100.0	3,052,636	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 記載金額については、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
3. 記載比率については、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

以上